

防火標語
守りたい
未来があるから
火の用心



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
福澤賢治

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



会長就任あいさつ

公益財団法人長野県消防協会 会長
福澤 賢治

向暑の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より長野県消防協会の事業運営に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、県下2万9千有余名の消防団員の皆様には、生業のかたわら火災、災害対応や各種訓練に取り組みられていることに心から敬意を表します。

この度、令和6年5月29日の理事会において長野県消防協会会長に選任されました福澤賢治です。就任に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

これまで多くの諸先輩方が築き上げてきた歴史と伝統を誇る当協会の会長の

役を考えたとき、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。重責を全うすべく副会長をはじめ理事、監事の皆様の御協力を賜りながら、全力で務めてまいりますので宜しくお願いいたします。

能登半島地震をはじめとした地震の頻発、気候変動の影響を受けての豪雨、土砂災害、大規模な山火事など、最近国内、県内各地で災害が相次いでいます。また市街地等での住宅火災も後を絶たず、不幸にして犠牲者も出ています。住民の皆さんの防災意識も高まっており、地域に密着して住民の生命、財産を守り、郷土を守る消防団の重要度も増しています。一方で、消防団活動への理解促進と団員の募集、団員の待遇改善や女性消防団員の活性化、訓練のあり方など課題も多くなっております。

長野県消防協会といたしましては、広報紙やホームページ、SNSの活用による事業の報告、PRをはじめ、女性消防団員の活性化、県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会の開催、副団長講習会、消防団長・事務主任研修大会、女性消防団

員活性化大会、指導員研修会などの大会、各種研修会の開催、この他表彰、消防団員の共済・福利厚生に取り組みます。

終りに、「不易流行―不変の中の変化―」について記します。「不易流行」とは、いつまでも変わらないものの中に、新しい変化を取り入れることを指す言葉です。本来の消防団の存在意義を大切にしつつ、時代に即した活動に形を変え挑戦し続ける、「不易流行」が消防団にも必要だと思います。県下消防団が今後

も変わることない「地域に根差した魅力ある消防団」であるために、県消防協会は団員の士気の向上、技術の向上と知識の習得、交流の推進を図り、地域防災力の一層の充実、強化のため支援してまいります。

結びになります。長い間当協会の発展に御尽力をいただき、先日任期を終えられた評議員の皆様、上條前会長・前副会長・前理事監事の皆様の益々の御発展を御祈念申し上げます。就任のあいさつといたします。

（敬称略・五十音順）
瑞室 単光章
（元）佐久市消防団 団長 上原 巧
（元）大岡村消防団 分団長 内山 和文
（元）長野市消防団 分団長 小池 宏明
（元）栄村消防団 団長 油科 浩
（元）塩尻市消防団 団長 吉池 昇一

消防関係者 春の叙勲

県内から5名の方が受章の栄に浴されました。

- 消防功労受賞者
7名の方が受賞されました。
（敬称略・五十音順）
（前）松本市消防団 団長 上條 博文
軽井沢町消防団 団長 柏木 智良
下諏訪町消防団 分団長 中村 賢治
塩尻市消防団 団長 百瀬 一茂
岡谷市消防団 分団長 濱 裕二
岡谷市消防団 分団長 花岡 隆志
上田市消防団 副団長 宮原 克彦

知事表彰

- 消防功労受賞者
7名の方が受賞されました。
（敬称略・五十音順）
（前）松本市消防団 団長 上條 博文
軽井沢町消防団 団長 柏木 智良
下諏訪町消防団 分団長 中村 賢治
塩尻市消防団 団長 百瀬 一茂
岡谷市消防団 分団長 濱 裕二
岡谷市消防団 分団長 花岡 隆志
上田市消防団 副団長 宮原 克彦

長野県消防協会の新しい体制

令和6年5月29日付

評議員

役員



評議員
松木 道夫
(前長野市消防団長)



評議員
二木 弘
(前安曇野市消防団長)



評議員
清水 健悟
(売木村消防団長)



評議員
篠原 充彰
(佐久穂町消防団長)



評議員
五十嵐 幸男
(県消防協会参与会相談役)



副会長
柏木 智良
(軽井沢町消防団長)



副会長
奥原 康隆
(松川村消防団長)



副会長
出澤 重樹
(飯山市消防団長)



副会長
坂巻 剛弘
(飯田市消防団長)



会長
福澤 賢治
(上田市消防団長)



理事
丸山 巖
(箕輪町消防団長)



理事
上沼 隆弘
(岡谷市消防団長)



理事
丸山 貴弘
(東御市消防団長)



理事
上原 亮一
(御代田町消防団長)



理事
由井 宏
(川上村消防団長)



常務理事
小野 政仁
(県危機管理部消防課長)



理事
藤沢 和人
(高山村消防団長)



理事
瀬在 順一
(千曲市消防団長)



理事
沖中 良偉
(小谷村消防団長)



理事
宮坂 明直
(松本市消防団長)



理事
澤木 良太郎
(上松町消防団長)



理事
横前 敏武
(喬木村消防団長)



監事
原山 幸治
(県町村会事務局長)



監事
清水 良文
(木曾町消防団長)



監事
菊原 和博
(南相木村消防団長)



理事
小菅 和重
(中野市消防団長)



理事
片桐 浩
(長野市消防団長)

第1回理事会

事業報告・決算報告を承認

5月14日長野市で第1回理事会を開催しました。冒頭、来賓として出席された前沢県危機管理監兼部長からあいさつをいただき、議事等を協議。令和5年度の事業報告及び決算報告が承認されました。

各理事、監事は今回が最後の理事会となることから、意見交換を実施。任期を振り返っての所感や、消防団の重要課題である団員確保策について、熱のこもった意見をいただきました。



第1回理事会

令和6年度定時評議員会

第2回理事会、第1回専門委員会開催

5月29日定時評議員会と第2回理



定時評議員会



第2回理事会

事会、専門委員会を開催。新役員体制がスタートしました。定時評議員会では、5年度の事業報告と決算が承認され、また各地区協会から推薦された評議員及び理事、監事の選任について、原案通り決議されました。第2回理事会では、理事の互選により会長及び業務執行理事の副会長並びに3名の副会長が選定されました。正副会長後に開催した専門委員会では、今年度事業計画について、また広く県協会事業について新鮮なご意見、ご提案をいただきました。(役員は次項参照)

関東甲信地区消防協会会議開催

6月5日関東甲信地区消防協会会議を長野市で開催しました。

日本消防協会秋本敏文会長の御臨席をいただき、当県を含めて1都9県の消防協会役員及び事務局職員29名が一堂に会しました。

会議では秋本会長の「これからの日本消防について」と題した講話を拝聴。都県提出議題による協議では、ポンプ操法大会のあり方について、有意義な意見交換となりました。また、当地区代表の日本消防協会副会長に埼玉県消防協会の森田会長を、同じく理事に当協会、福澤会長の推薦が承認されました。

2日目は善光寺の防火対策、長野市長沼の令和元年東日本台風災害からの復興状況、小布施町を視察しました。



令和5年度歳入歳出決算 (令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)	
(単位:円)	
I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
基本財産運用収入	6,906,000
事業収入	5,593,598
補助金等収入	9,937,659
雑収入	2,456,371
事業活動収入計	24,893,628
2 事業活動支出	
事業費支出	15,177,800
広報事業費	389,400
予防宣伝対策事業費	586,344
教養訓練事業費	10,306,555
表彰事業費	2,246,931
弔慰救済事業費	1,648,570
管理費支出	11,703,702
事業活動支出計	26,881,502
事業活動収支差額	△1,987,874
II 特別積立預金支出	
当期収支差額	△2,193,897
前期繰越収支差額	6,899,554
次期繰越収支差額	4,705,657

信州消防団員 応援ショップ

店舗登録 募集中!

消防団員とご家族のご利用をお待ちしております。



日本消防協会 秋本会長講話

知事感謝状交付式

2年間の長野県消防協会正副会長の重責を担われ、在職中に危機管理をはじめ、県政の発展に寄与された次の4名の方々に阿部守一知事から感謝状が交付されました。

前会長上條博文氏(松本市)、前副会長日下部良也氏(伊那市)、前副会長長松木道夫氏(長野市)、前副会長笹川政義氏(木祖村) 前沢県危機管理監、小野県消防課長、県消防隊長の西澤会長、当協会福澤会長が立会われました。



知事感謝状交付式

副団長講習会

6月8日(土)副団長講習会を長野市の県消防学校で開催しました。62消防団から87名が参加。昨年に引き続き消防団員等公務災害補償等共済基金の講師4名による消防団危険予知訓練として、グループ別に「林野火災での放水活動」をテーマに危険想定と予防について協議し、検討結果を発表しました。



副団長講習会

退任あいさつ



前長野県
消防協会長
上條 博文

退任にあたり挨拶申し上げます。

長野県消防協会役員の皆様をはじめ消防関係の皆様には協会運営にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。令和4年の就任時はコロナ禍でした。制約のある中、式典無し、選手入替制導入等により、長野県消防ポンプ操法大会・ラップ吹奏大会を松本市で挙行しました。各協会からの出場団数はコロナ前より少なく残念でした。そして令和5年5月コロナの位置づけが5類感染症になり、長野県消防学校にて県大会を行う事ができました。しかしコロナにより操法大会に対して世の中の考え方が変わりました。訓練をしなければ団員の安全はないと思います。その為にも消防の基本のポンプ操法訓練を通じて県全体の消防力向上を願っております。大会で勝つ為の訓練でなく、これからは誰もが経験する訓練という事を団員に伝えて頂ければ理解を得られるのではないかと思います。

これからも地域住民の安心安全の為宜しく願います。ご安全に。



前副会長
日下部 良也

令和4年度から2年間、県消防協会南信ブロックの副会長として大変お世話になりました。正副会長、事務局始め理事の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。移住者で消防団に入り14年後に団長までさせていただき、さらに県消防協会事業まで携われることになることは、幸運のなにもでもありません。振り返りますと、県消防行政に資する協会の事業に副会長たる貢献をしたい、せねばと思いつつも緊張の中で戸惑うばかりでしたが、地区の代表である理事の皆様との交流では「地域特性」を強く感じ、その知見を深めるとともに長野県の広さと多様性の豊かさを思い知りました。団員減少など様々な課題がある中、様々な試みがなされておりますが、今後の協議、交流を通して良き答えが導き出されることを切に願います。

最後に、長野県消防協会の益々の発展と新任の皆様のご活躍、県下更なる地域防災力強化がなされることをご祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



前副会長
消防協会長
松木 道夫

令和4年に県消防協会の副会長に就任させていただき、2年間お世話になりました。コロナが少し下火になり、少しずつ元に戻る中、操法大会、出初式、消防訓練も感染予防に注意して行うようになり、コロナ前に戻ってきました。

そんな中、県内の各協会の皆さんと意見交換ができた有意義な2年間でした。近年大規模な災害が各地で発生し、その度に人命、財産が失われています。災害に強い長野県にするため、今後は団員数の減少等様々な問題があり、消防団を取り巻く状況は厳しいと思いますが、県消防協会を中心それぞれの地域の安全、安心を守るために活動していただきたいと思います。最後になりますが、長野県消防協会と各団の皆様、それを支えてくださるご家族の皆様、御健康と御多幸をお祈りして退任のあいさついたします。



前副会長
笹川 政義

長野県消防協会の理事の皆様、消防関係者の皆様には2年間大変お世話になりました。微力ながらも副会長を務めることが出来たことは皆様のご協力を頂いたおかげです。この2年間の出会った方々との交流や意見交換は自分にとっては大変貴重な時間でした、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスも5類に移行し人流制限が緩和される中、長野県消防ポンプ操法ラップ吹奏大会が再開し人数を減らして、入れ替え方式で開催出来て成功した事は大変喜ばしく思います。長野県内何処でも団員減少の抱える悩みは後を絶ちませんが、県協会一丸となり取り組んでいってほしいと思います。最後になります。長野県消防協会と各地の消防団員とご家族皆様のご発展、ご活躍またご健康をご祈念申し上げます。退任の御挨拶とさせていただきます。

